

2ペテロ3：8-10

「キリストは必ず再臨される②」

10/22/17

A. 来臨の否定に対して（裁きを否定）イザヤ66：16、ヘブル10：26-27

B. 来臨の送れに対して

「どうしてキリストは来臨しないのか」との反論に対してペテロは、二つの事実を挙げる。

1. 誤った時間観念 8節 詩篇90：4

2. 誤った神観念 9節

「思っている」

神は約束を必ず守られるお方である！ イザヤ25：1

①**神の忍耐**：「忍耐深くあられる」

- 「猶予」マタイ18：26
- 「待って」マタイ18：29
- 「寛容」1コリント13：4、1テサロニケ5：14

神の忍耐は完全。ローマ3：25、9：22

②**神の愛・人間の愛**

(1)「神は罪人の死に心を痛められる」：「ひとりでも滅びることを望まず」

エゼキエル33：11、18：23、1テモテ2：4

(2)「神は罪人の救いを喜ばれる」：「すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられる」

使徒17：30、エゼキエル18：23、32、ルカ15：7

しかしすべてが悔い改めないことを知っておられる。マタイ23：37

3. 裁きの確実性 10節

①「主の日とは」

●地上再臨 イザヤ13：6、9、ゼパニヤ1：15、ヨエル1：15

●最後の審判の その後新天新地が誕生する。黙示録20：7-13

*こうして「主の日」には、これら2つの裁きが含まれている。

②「主の日の到来」：

「盗人のようにやってくる」 1テサロニケ5：2、3

その出来事の詳細を見ていこう。

③「主の日の出来事」：

●「天は大きな響きをたてて消えうせ」 マタイ24：35a

●「天の万象は焼けてくずれ去り」

●「地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます」 イザヤ13：10-13、黙示録21：1

考えましょう：

1. 「主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。」という旧約の御言葉は、私たちに何を教えていますか。
2. 「主の裁き」がまだ訪れない理由を説明してください。
3. 「主の日」について、またその出来事を説明してください。
4. 「主の日」が確実に訪れる理由を挙げてください。